

第1回協議会（R4.8.4）のまとめ

医療・教育・福祉の連携について

協議内容

対応策

①大人の発達障がいについて

- ・県立高校への支援
- ・通信制高校への支援「わたしのトリセツ」
- ・アウトリーチ型の支援について
- ・障がいを隠す・障がいを申し出られない人を拾う
- ・成人期に問題が表在化
- ・子と親への支援

- ・県立高校での支援が途切れないように学校と連携しながら支援を行う
- ・「わたしのトリセツ」をフィードバックし、実施していく
- ・学校は外部の専門機関や特別支援コーディネーターへつなぐ役割であるということを啓発していく
- ・障がいを隠す・障がいを申し出られない人・気づいていない人を拾うために、高校、通信制高校、大学（新規）での自己理解や相談の支援を行う

②特別支援教育について

- ・市立中学校の自閉症・情緒障害学級進路先
- ・ふくろう連絡便の教員負担について
- ・特別支援教育コーディネーターについて

- ・高校・通信制高校への支援の継続
- ・ふくろう連絡便のあり方について検討

③かかりつけ医と発達早期支援体制について

- ・かかりつけ医への情報提供希望確認書
- ・発達早期支援体制図

- ・かかりつけ医への情報提供希望確認書→同意書への文言の変更（R5向け関係課と調整中）
- ・あそびのひろば・ぱすてるひろば委託事業者と関係課との連絡会を開催する
- ・発達早期支援事業について医師会を通じて、市内の小児科医へ再度周知を行う

④全体を通してのご意見

- ・強度行動障がいの問題について
- ・「きらり」支援者人数の拡大について

- ・自立支援協議会の下部組織「地域生活支援部会」においても、強度行動障がい等の入所施設退所後の受け入れ体制の整備について議題が上がっているため、部会の中で検討していく
- ・今後の課題として検討する